

市民メセナ

The tenth anniversary
Vol.8・9・10

合併号
10周年記念
よこはま市民メセナ協会

The Yokohama Civic Association for the Arts



ごあいさつ



よこはま市民メセナ協会会長

西田 由紀子

「よこはま市民メセナ協会」はおかげさまで今年10周年を迎えることができました。

日頃より私どもの活動にあたたかいご理解ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

当会は、行政の文化講座をきっかけとする研究会を経て、1998年よりボランティアによる市民提案型メセナ団体として文化支援活動に取り組み「文化芸術による街づくり」という未来に続く道を歩みつづけてまいりました。

地域に根差した市民メセナの重要性を認識し「協会」を創立した1998年は、NPO法施行等もあり文化を軸にした市民活動に対して新たな視線がむけられた時期でもあり、私どもにとって意味深い出発の年であったと思います。

これまで10年間に開催したシンポジウム、アートマネジメントセミナー、鑑賞事業、さらには全国各地のメセナ組織との交流等を通じ、人々の文化芸術溢れる地域創造へのマグマの高まりを強く実感しております。

子どもが活動を継続できました根底には「感動」や「ときめき」を贈ってくださる沢山のお支えがありました。ご体調を押して素晴らしいコンサートを実現してくださった小椋佳さんのあたたかく澄んだ歌声が公会堂を包み込み、会場が一つになった春の一日は今でも忘れられません。よいものを発信し続けたいとの会員の熱い思いは、互いの絆を深め、資金や場、予期せぬ変更など様々な困難や壁も何とかのりこえてまいりました。

思いは形となり、「横浜の文化を元気にするために!市民のみなさんと行政が思いっきり語り合うシンポジウム」(1999年)、「横浜市民アートマネジメント博覧会・市民の皆さんが自ら担い手となってプロデュースしていく街・横浜」(2004年)、さらには文化芸術団体調査「市と市民が協働して開発・研究するわが街横浜のニーズ」(2007年)など企業や行政のみなさまと分野や立場をこえて数々の共創の実現をみています。

今、市民メセナ活動は着実に人々の間に、そして全国へと浸透し、企業や行政との協働のもと多彩な活動が市民の手によって展開されるようになってまいりました。

子どもは10年をむかえて次なるスタートラインにたち、地域文化芸術のさらなる発展にむけて楽しく力強く「市民メセナ」の明日に挑んでいきたいと存じます。

講座やシンポジウム、調査研究、舞台事業や文化交流にご参加くださったみなさま、アーティストや企業・行政、全国のメセナ団体など多くの方のご協力やお支えをもってこの日を迎えることができましたことに一同感謝でいっぱいでございます。

あらためて、これまで活動を支えご協力くださいました多くの皆様、関係諸団体の皆様に心よりお礼申し上げます。今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



The tenth anniversary

「小さなカフェでこの会の名前について相談を受けてから10年を迎えました。

この間、会の活動を支えてきたのは、普通の市民たちでした。暮らしの中で得た情報や感性をあまり背伸びせず、着実に具現化してきました。このような会の活動に対して、多くのアーティストからご賛同とご協力をいただいたことに感謝するとともに誇りにも思っています。

今まで築いてきた「知財」を大切にしつつ、さらに力強い一歩を踏み出します。」



よこはま市民メセナ協会理事長

高松 範



創立10周年おめでとうです

お祝いのことば

横浜市長 中田 宏

よこはま市民メセナ協会創立10周年を心からお喜び申し上げます。

欧米で発達していたメセナ活動が、日本で注目され始めたのは1990年代のはじめでした。

当時は文化活動支援を意味する「メセナ」が、企業イメージの向上につながると考えられたことから、多くの企業がメセナ活動に参加しました。しかしながらその後の経済状況の変化に伴い、企業による支援は現在一定の落ち着きを見せているようです。

そうした中、景気や経済動向に左右されず、横浜の文化を市民自らが支援して行くことを目指して1998年に創立されたのが「よこはま市民メセナ協会」でした。メセナ活動が、市民活動として行われるのは、全国的にも珍しいことであると伺っております。

1998年のアートマネジメントセミナーの開催に始まり、全国のメセナ協議会とも連携を図りながら、啓発事業、鑑賞事業、文化交流事業の各ジャンルで、これまで特徴的な数々の活動を展開してこられました。

近年では、2004年に「横浜市民アートマネジメント博覧会」を横浜市と協働で実施し、様々な文化団体が集う場を創出していただきました。

また2006年には、「横浜市の文化芸術団体に関する調査」を横浜市からの委託事業として実施していただき、文化団体のニーズについて、ヒアリング調査などから詳細に掘り起こしを行い、提言をまとめていただきました。

この調査を基に、本年度、「地域芸術文化活動支援事業『アスハマ』」という新しい支援制度を立ち上げることができました。これもひとえに、貴団体が長年にわたり市民の目線で市民活動としての地道な取組を積み重ねてこられた賜物と、心から感謝を申し上げます。

横浜では多くの市民が文化活動に関心を寄せており、これまで以上に一層きめ細かい施策が求められています。

横浜の文化芸術の新興のためには、市民の皆様による自主的な活動が広がって行くことが重要であると考えております。

そのため、横浜市では、文化芸術活動が活発に行われるような環境整備を進め、文化芸術による都市の個性発揮を目指して取り組んで参りたいと考えております。

最後になりましたが、永年に渡り活動を継続してこられた貴団体に深く敬意を表しますとともに、今後も、貴団体が横浜の市民文化活動の発展にご尽力くださることをお願いし、貴団体のますますの御発展を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

10周年を祝して

全国メセナネットワーク座長 佐賀県企業メセナ協議会代表世話人 村岡 安廣

よこはま市民メセナ協会10周年にあたり、一言お祝いを申し上げます。貴協会は平成9年より市民一人一人の力により、アートマネジメントセミナー、文化交流、芸術鑑賞などを通してメセナ事業を展開してこられました。その地道な事業展開により横浜市において、地域活性化の担い手として高い評価を得ておられることに改めて敬意を表す次第でございます。

とりわけ文化交流におきましては平成10年より全国メセナネットワーク会議の前進である全国メセナ組織協議会に積極的に参加され、活動事例発表を行われました。その後も毎回全国メセナネットワーク会議に参加され平成13年には横浜市における全国メセナネットワーク会議を主催していただきました。

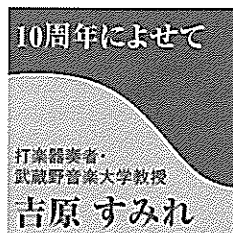
文化都市横浜の威容を背景に盛大に会議が運営され、大いに意義ある文化交流となったことは記憶に新しいことで

ございます。その後も私共佐賀県企業メセナ協議会の平成18年度視察会においても、心暖まる歓迎の会を催していただき大変に意義深い視察会となりました。

横浜の国際交流をはじめとした様々な文化形成にふれ、佐賀県企業メセナ協議会会員一同様々な感銘を受けた次第です。

よこはま市民メセナ協会10年の歴史はひとえに西田由紀子会長をはじめとした役員の方々との指導力と会員相互の協力の賜物であると存じます。

今後の更なる発展をひらすら祈念し、10周年の祝辞とさせていただきます。



よこはま市民メセナ協会の活動が10周年を迎えると聞きました。心よりお祝申し上げます。

今までの活動を見せていただき、ただただ驚嘆しております。

市民の力で総合芸術を推進させていくのは並大抵の事ではな

いと思うからです。

私は、2001年に呼んでいただいたのですが、その際、福田さんの素晴らしい花火の写真とコラボレーション出来た事が強烈な印象として残っています。

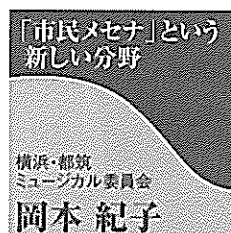
また、スタッフの対応が実にきめ細かく、演奏家の心理を解ってくれているんだなあ、と感心させられました。

私は30年位前、音楽だけでなく、画家、建築家、デザイナー等々、様々なジャンルの人たちと一緒に活動し大きな『うねり』を作りたいと願ったのですが、見事に挫折しました。

皆さんは私の夢だったことを実現していらっしゃる！うらやましいです。

是非これからも、活動を続けていってください。

楽しみにしています。



よこはま市民メセナ協会創設10周年おめでとうございます。

まず、「市民メセナ」という新しい分野にいち早く取り組み、着実に実践され続けていらっしゃる事に敬意を評します。会長の西田由紀子さんとは、青葉区と都

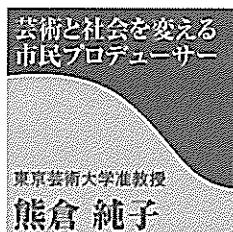
筑区が誕生した時にお互いにそれぞれの新区誕生のイベントに携わって以来お付き合いをさせていただいています。

中でも、2004年9月に開催された「横浜・市民アートマネジメント博覧会」（市民の皆さんが自ら担い手となってプロデュースしていく街・横浜）にゲストとして参加させていただいた事は、その後の私の活動の目標となっています。

ひとことにアートといっても捉えどころのないじつに幅の広い分野です。そしてそれぞれが違った問題を抱えて活動をしています。しかし残念ながらきめの細かいメセナがなされていないのが現実だと思います。

2006年に実施なさいました「横浜市の文化芸術団体に関する調査」にも協力させていただきましたが、その報告書を読ませていただいて、実に多くの集計と分析がなされているなど関心いたしました。

この調査を生かされて、今後も横浜市の文化芸術団体の良きリーダーとして、ますます活躍されますことを期待いたします。



「よこはま市民メセナ協会」が10周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。

市民が「つなぎ手／送り手」として文化に携わる機運は全国で徐々に高まっていますが、こうした潮流のさきがけとなった皆様の活動が

すでに10年の歴史を持たれたことは、横浜のみならず日本にとっての大きな財産であり、21世紀の市民社会づくりにとって非常に期待される喜ばしいことだと思います。

市民文化プロデューサーは、これからの日本社会の変革を担う重要な鍵になると言っても過言ではありません。これまで市民にとって文化を享受する方法は、主に「みる／鑑賞する」「つくる／作品を演じる・制作する」という2つの方法が主でしたが、プロデューサーという「つなぎ手／送り手」として表現者と社会の間に立つことは、文化享受の第三の道としてこれからもっと注目を浴びると思われます。

市民プロデューサーの活躍は、第一に、数多くの表現者を輩出しながらごく一部のファンにしかその活動が評価されない日本の文化環境を変える可能性を持っています。

市民の手でまちや暮らしのさまざまな場面に芸術家を迎える機会を創出することは、芸術家の活動の場を飛躍的に増やすと同時に、とかく難しいと思われがちな芸術を生

活者の視点で世に送り出すことでファン層の拡大につながります。

第二に、作品を世に送り出すという行為は、単なる消費としての文化享受を超えて優れて社会的な営みです。さまざまな社会経験を持つ市民の力が文化プロデュースの分野に活かされることは、専門の文化機関だけでは閉鎖的になりがちな芸術の視野を広げ、芸術の社会化を革新的にすすめる引き金にもなり得ると思います。

そして第三に、市民プロデュース活動は携わる市民の皆さんの価値観を大きく揺さぶることで、皆さん自身を新たな公共圏へといざないます。なにしろ芸術はさまざまな受け取られ方をしてこそ意味があるものですから、そのプロデュースには柔軟な価値観が求められます。皆で力を合わせて芸術を世に送りそうとするとき、きっと常に正解のない議論が沸きあがると思いますが、こうした議論を経てこそ社会は、さまざまな「好き嫌い」を許容する多元的な価値観を獲得することができるのです。

これからは、文化がコミュニティの触媒として機能しているかどうか、成熟した市民社会のバロメータになると思われます。

芸術にも社会にも大きな役割を果たす可能性を秘めた市民プロデューサーの時代——「よこはま市民メセナ協会」が、これからもその牽引役を果たしてくださることを心より祈念しております。

市民メセナ活動 10年のあゆみ

1998

＜創立＞
1998年4月26日

- 1998年6月 アートマネジメントセミナー
「舞台芸術を企画運営しませんか!」(全8回)

(アートマネジメントセミナー)

啓
発
事
業



講師とセミナー受講生

鑑
賞
事
業



- 1998年11月(於・長浜ホール)
セミナー受講生によるコンサート
「インド音楽のしらべ」

- 1999年1月 「歌舞伎はともだち・釣女」上演



文
化
交
流
事
業



2000年9月13日付 佐賀新聞 掲載

- 1998年9月
(於・佐賀県嬉野市)
全国メセナ組織会議参加
(横浜活動事例発表)



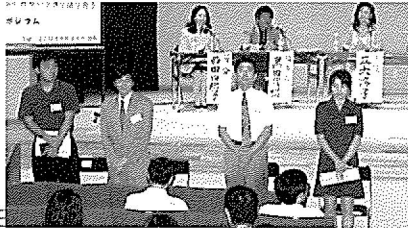
全国メセナネットワーク
シンボルマーク

1999年 五大陸子
ひとり芝居「横浜ローザ」

1999

- 1999年9月 アートマネジメントセミナー
シンポジウム編
「横浜の文化を元気にするために!!
市民のみなさんと行政が
おもいっきり語り合うシンポジウム」
共催・横浜市・横浜市文化振興財団
市9区から行政参加

- アートマネジメントセミナー
行政との協働・企画・運営・実施
(全3回)



- 1999年11月 (於・金沢公会堂)
五大路子ひとり芝居
「横浜ローザ」上演

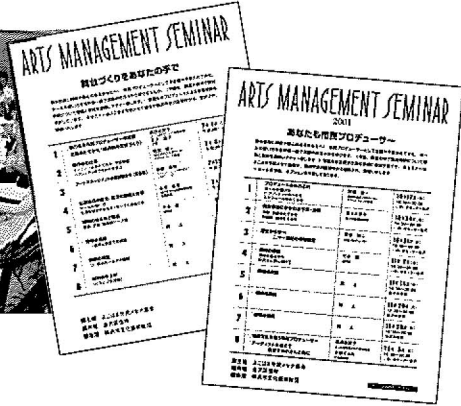
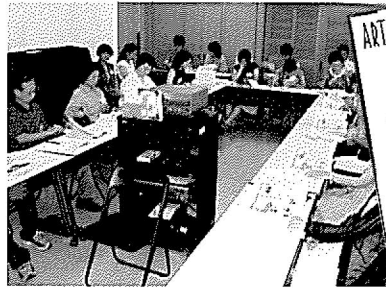


- 「横浜ローザ」舞台後打ち上げ風景



2000

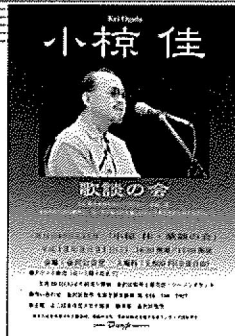
- 2000年7月 アートマネジメントセミナー
「舞台づくりをあなたの手で」
企画・運営講座と照明の理論と実技
(全8回)



2001

- 2001年10月 アートマネジメントセミナー
「あなたも市民プロデューサー」
照明の実際・アーティストの話 (全8回)

- 2001年3月
(於・金沢公会堂)
小椋 佳
「歌談の会」



- 2002年2月 (於・金沢公会堂) コンサート
「吉原すみれ・華麗なる打楽器の世界」

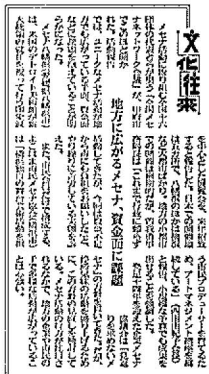


- 2001年1月 (於 長浜ホール)
セミナー受講生による
「島崎ひでおニューイヤーピアノコンサート」



メセナスタッフと打ち合わせ

- 1999年7月 (於・長野県松本市)
全国メセナネットワーク全体会議



2000年10月9日 日本経済新聞 掲載

- 2001年度 (於・横浜市) 全国メセナネットワーク会議・シンポジウム
「新世紀のメセナー官民パートナーシップの可能性を探る」
(全国メセナネットワーク&当協会主催・横浜市共催)



- 2000年9月
(於・山梨県甲府市)
全国メセナネットワーク会議

- 2000年9月
「市民参加による
市政研究会」と交流
(宮崎市市政研究会が来訪)

- 2001年7月 (市長公舎にて)
横浜市長と語る会



2002

- 2002年10月 アートマネジメントセミナー
「市民プロデューサーとしての学びと実践」
舞台音響・理論と実技（全8回）



- 横浜市民主催
協働のあり方シンポジウム参加

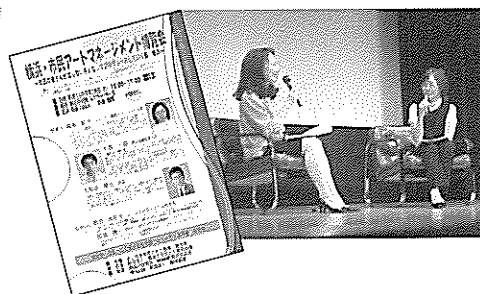
2003

- 2003年9月 アートマネジメントセミナー
市民プロデューサー養成講座
「小さな舞台事業をいっしょに!」
（全8回）



2004

- 2004年9月 シンポジウム
「横浜市民アートマネジメント博覧会・
市民の皆さんが自ら担い手となって
プロデュースしていく街・横浜」
当協会と横浜市が協働で実施。



- 横浜美術館アートボランティア協力



公会堂入り口での長蛇の列

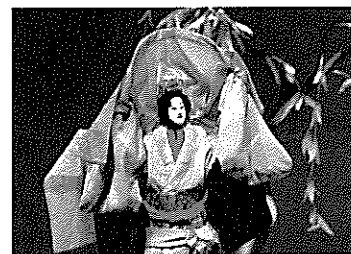
- 2003年2月
（於・金沢公会堂）
吉行和子一人芝居
「ミツコ」上演



開演前の満席のお客様



- 2004年2月
「人形浄瑠璃・乙女文楽」上演



- 2005年3日 セミナー受講生によるコンサート
「ウイリー沖山さんのコンサートを一緒に作りませんか!」



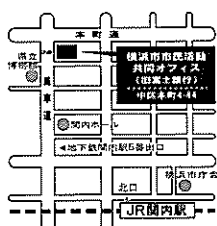
- 2002年9月
島根県自治研修所との交流
（来訪）

- 2002年9月
（於・新潟県新潟市）
全国メセナ
ネットワーク会議参加

- 2003年
馬車道共同オフィスにて
文化サロン
「ジャズ & トーク」

- 2004年9月
（於・福島県喜多方市）
全国メセナ
ネットワーク会議参加

- 2002年10月
横浜市民活動共同オフィス
に入居



JR・市営地下鉄「関内駅」より徒歩10分



2005

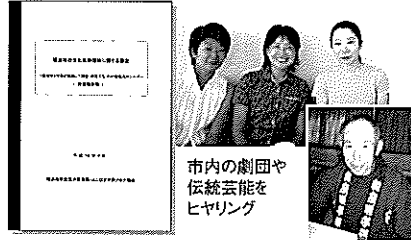
- 2005年9月 調査・研究事業
第1回
Bankart1929 及び
BankartStudioNYK を見学
- 2006年3月
第2回
横浜山手の文化施設研究



- 横浜美術館アートボランティア協力

2006

- 横浜市より受託〈市民活力推進局〉
「横浜市の文化芸術団体に関する調査・
市と市民が協働して開発・研究する
わが街横浜のニース」市内30団体ヒヤリング
実施報告書作成



- 横浜美術館アートボランティア協力
- ニュースレターの発行

2007

- 2008年2月2日(予定)
よこはま市民メセナ協会
10周年記念シンポジウム
(於・横浜創造界隈「ZAIM」)
- 10周年記念誌発行
- 文化事業協力・後援等



- 2006年1月 (於・金沢公会堂)
水谷八重子一人語り
「有吉佐和子原作・ふるあめりかに
袖はぬらさじ」上演



● 「アスハマ」

2006年度実施の「横浜市の文化芸術団体に関する調査・市と市民が協働して開発・研究するわが街横浜のニース」を基に地域芸術文化活動支援事業「アスハマ」が発足。

当会と横浜市の協働関係から公募型「アスハマ」制度誕生！

地域の文化芸術を支援
横浜市 公募型の新補助金

- 2006年11月 横浜市芸術文化振興財団より受託
教育プログラム (全3回)
「体験型・子供のためのドラスクール」
横浜市日吉台小学校へ出前授業

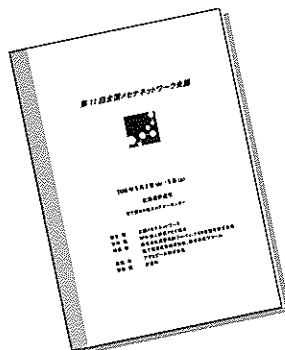


演劇のもつ多様な表現形態を体験する子供たち

- 2005年7月 (於・横浜)
佐賀県企業メセナ協議会の方々が横浜視察
に来訪され、当協会と交流。
- 2005年9月 (於・東京都大田区)
全国メセナネットワーク会議参加
「アートによる市民主導のまちづくりを語ろう」
にパネリストとして横浜の市民メセナ活動を紹介。



- 2006年9月 (於・北海道伊達市)
全国メセナネットワーク会議参加



- 2007年(於・群馬県前橋市)
全国メセナネットワーク会議

